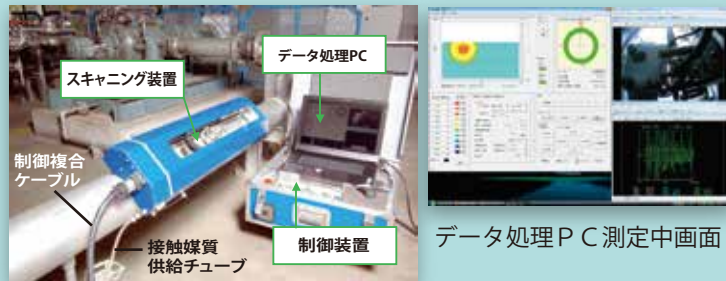


# 配管内面減肉スキャンシステム

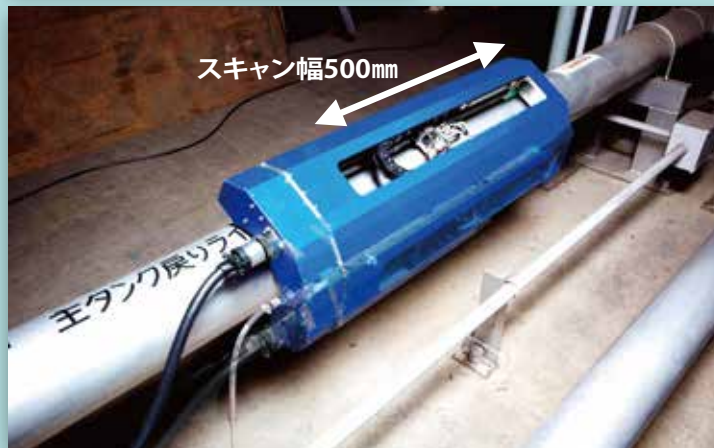
配管内面減肉スキャンシステムは鋼製配管(100A以上)を周方向に移動しながら軸方向に500mm幅のスキャンを行い、鋼板の内面減肉を検出し、厚さ測定データをリアルタイムに表示することができます。

- ◆ 配管塗装膜上からの鋼板厚さ測定及び塗装膜厚測定が可能。
- ◆ 自動スキャンにより、抜けの無い安定したデータ取得が可能。
- ◆ 波形取込みにより任意箇所の断面(Bスコープ)詳細結果表示が可能。

## 配管内面減肉スキャンシステム



データ処理P C測定中画面



水平配管の測定 (走行イメージ)



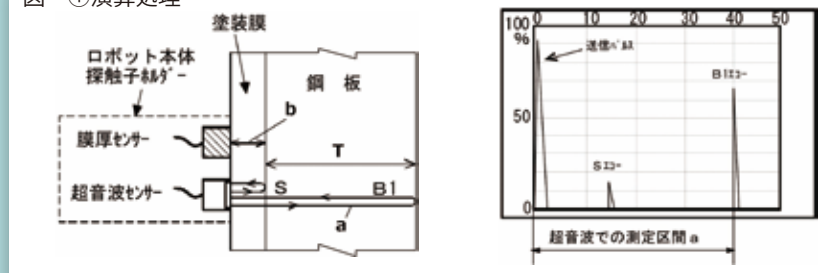
垂直配管の測定

## 測定方法

- ◆ 厚さ測定は、図一①に示すように超音波センサーと、膜厚センサーにより鋼板と塗装膜厚さ(油膜厚さ)を各々測定し、演算処理によって鋼板厚さを求める。

$$\text{鋼板厚さ} T = a - b$$

図一①演算処理



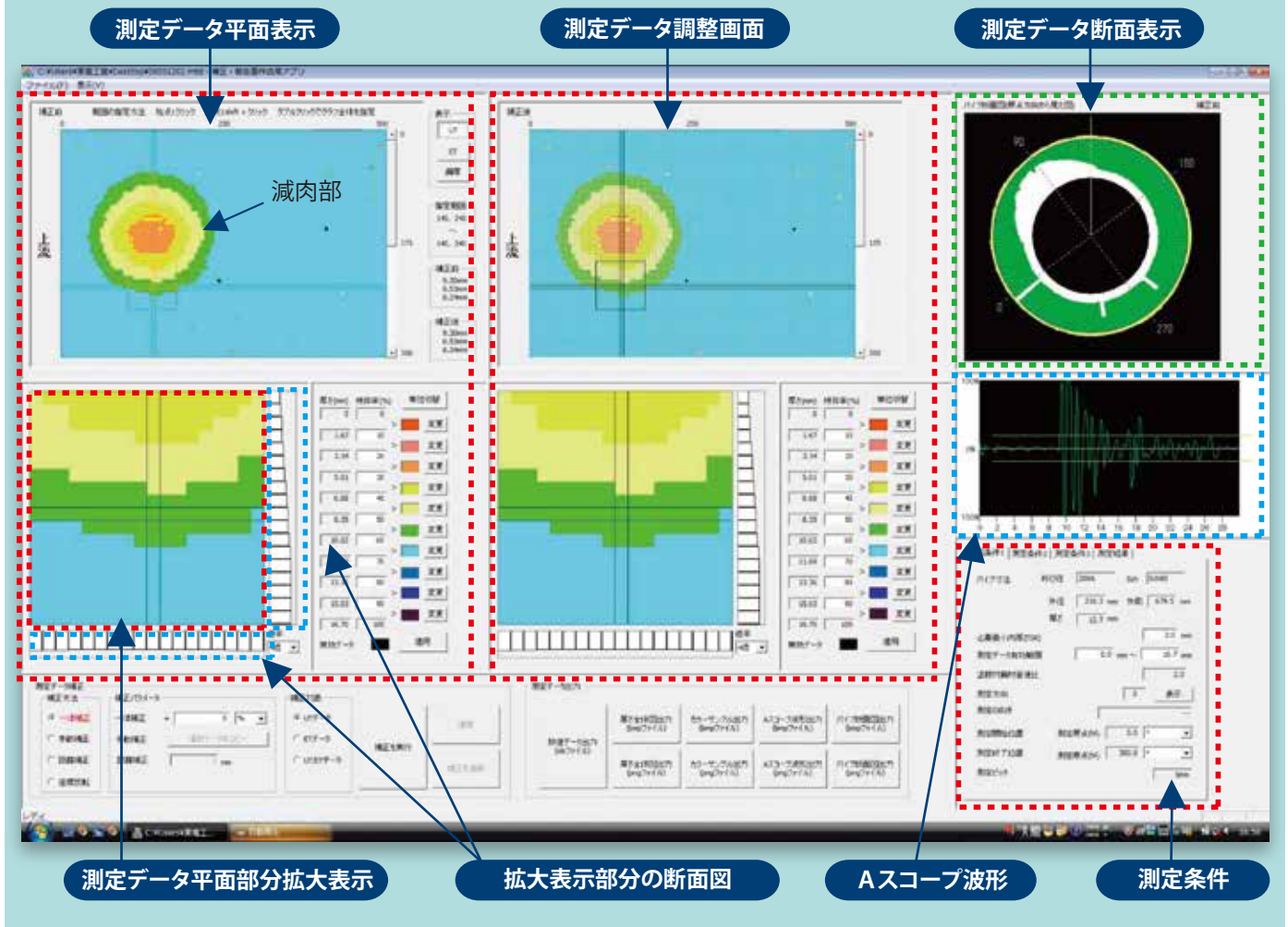
配管  
内面減肉  
スキャンシステム

軸方向500mm幅の配管  
全周全面肉厚測定により  
抜けの無いデータを取得

POWER TECHNOLOGY Ltd

## データ表示

### ■測定データ表示画面（平面・断面表示）



- ◆ 平面測定データは、10 mm幅での色分け表示、詳細数値データが表示可能。
- ◆ 測定データは、複数の連続データを取得し、取込ピッチ区間の最小値が数値データとして表示可能。
- ◆ 波形取込みにより配管断面表示及び減肉部の詳細測定データ表示が可能。
- ◆ 測定中はAスコープ波形により裏面状態の把握が可能。

## システム仕様

- 走行方式：マグネット吸着自走式
- スキャン装置重量：20kg
- 測定速度：150 mm/sec程度
- 測定範囲：スキャン方向500mm  
セッティング可能長さ1100mm
- 測定可能鋼板厚さ：2.0mm～30.0mm
- ロボット寸法：850mm×230mm×115mm
- 測定結果表示：塗膜厚さ・鋼板厚さ色分け表示/  
数値表示/断面表示/Aスコープ  
波形表示

お問合せ先

 **東京パワーテクノロジー株式会社**

技術部 技術センター（川崎事務所）

〒212-0015 神奈川県川崎市幸区柳町83-1

TEL. 044-541-7820 044-541-7811 FAX. 044-541-7800

URL: <https://www.tokyo-pt.co.jp>